

バスターズ週報

第1197号
昭和四十八年
四月三十日
日曜日発行
Diretor
Koiti Mori
Shion Oda
Rua Pres.
Vargas, 188
C. Post. 112
Fone; 40
EASTOS
C. P.
Annual
Cr. #
30.00
Adiant.

水紋 18

わかりにくい

インドシナの政情

わけの判らぬ 米国の介入

ベトナム戦争が終り、双方の捕虜釈放も片付き、米兵の撤退も済み、やっとならぬが訪れたらと思っていたが、昨日の新聞では、カンボジアの首相ブノンペンが共産軍に包囲されて危い、それを救援するため米機が盛んに轟撃し、爆撃しているという報導が目につく。それと、ラオス方面にも共産軍が現われて、政府軍とついでいるようだ。

インドシナ半島と云ふ地域は全く混同した地帯で、地理で見ると、東部は北南ベトナム、その西隣りがラオス、そのまた隣りがタイラン、ラオスの南がカンボジアである。

穀の産地の上は細長い、南北にのびた国が並んでいるような地域で、いずれも後進国。そして政情の不安定国々、南北ベトナムが十数年内戦をつづけ、米國がこれに介入して、世界の物笑いになつたが、又クアオスやカンボジアに広げられて、たとえ空軍にしても、共産軍爆撃にのり出すとは、何と云ふことであろう。無論勝手に爆撃したのではなく、カンボジア政府（ロン・ノル内閣）から頼まれたからと釈明している。

頼まれりや越後から米機を飛ばし、とうとう諺があるが、たのまれて肉輪喰の底腹に行くとは、狂気の沙汰である。自国の戦力で共産軍を打ち破れないなら、いさぎよく赤化すべきである。

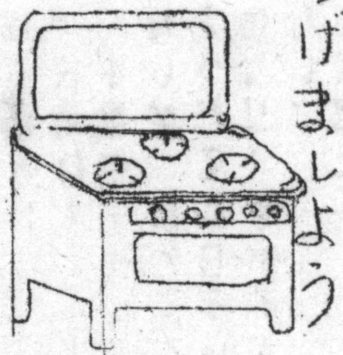
毛沢東や周恩来などは、長安から赤軍を率いて蒋介石軍を大陸から追い出し、人民共和国を作っているではないか。人民共和国を作らなければならぬ。だが、大勢には負けておかないか。そして、中ソ連へ逆輸入したて付ないか。そして、中ソ連へ逆輸入したて付ないか。そして、中ソ連へ逆輸入したて付ないか。

ハノイとサイゴンがいつしようにならうと、北鮮が南鮮が手を握ろうが、それは国家の歴史、時勢の流れというものである。

CASA TARODA

五月十三日は母の日です
今年はお母さんのために美しい
丈夫で使いやすい
フオゴン

買ってあげましょう



太郎田屋は「母の日」まで破額の値段で素晴らしいフオゴンを提供いたします。

フオゴンの御相談ならどうぞ

太郎田屋ガス部へ

電話十六番

カンボジアは、サイゴンからも援軍を送るとか何とかいって襲いでいるが、そんなことをして敗退すれば、再び米軍の強化となり、戦乱はベトナムから隣国へ移り、舞台の変わった、インドシナ戦争となるだろう。

カンボジアという国

カンボジアには、シアヌーク殿下というから、王室の人だろう。この殿下が、一昨年ソ連、中共へ外遊したが、元来共産系政治に共鳴して、真赤では無いが、桃色政治をしていたので、華々しい共産政好みも国内に多いので、華々しい共産政治を布くわけにはいかぬ。あつたあつた、ソ連では余り特権がよくなかつたらしい。

その外遊中、シアヌーク殿下の政治趣向を快く思っていないか。ロン・ノル将軍が、カンボジア政府を乗っ取り、殿下を反逆者として帰国する。殿下は、殿下を反逆者として帰国する。殿下は、殿下を反逆者として帰国する。殿下は、殿下を反逆者として帰国する。

シヤ王国連合政府という看板だけの政府を作って本国のロンノル政府は封鎖されていゝ。

シアヌーク殿下は最近北鮮を訪問し、金日成書記とも会談しているが、金氏大いに感激して、シアヌーク殿下の爲めに一軍をさしむけてもいいような発言ぶりである。

ソ連はシアヌークなど……と冷く振つていゝはかりか、すでにロンノル政府を承認している。

一方中共、北鮮などのフアンも居る。とだから、カンボジヤを含めた国際会議では、一波乱すめかれぬだろう。

ラオスという国

ベトナムとクイに挟まれた細長い国ラオスは海のない国、ブラジルとアルゼンチーナは挟まれたパラグワイみたいな国だ。この国境、といつても地図の上でははつきりしているが、実際に歩いた人の話では、あいまいなもので、ハノイがホーチミン、ルート構築したのは自国内か、ラオス領内か不分明だという。

ラオスは、ベトナム紛争には中立だったのが、ホーチミンルートの問題から破れてしまひ、ラオス国内の民衆、共産、中立の三派の均衡が破れ、国内の共産軍はハノイの支援を受けて勢力となつた。

○ 従来ベトナム国で行われていた内戦は、とうとうラオスから、カンボジヤへかけて拡がり、収拾がつかなくなつてしまつた。ニクソン大統領が、ハノイと握手しようと思ひなしたのは、とうていこの紛争の解決の道なしという事を、身を以つて悟つたからである。仔分のキツンソン、補佐官をたひたひりに派遣してハノイのレ、ドク、ト顧問と全談させた。ベトナム内戦のけりはずいだが、ラオス・カンボジヤの紛争まで出来なかつたのではないか。ハノイは隣国の内戦に手出しはしないといふわけになつて来たが、ラオスといひ、カンボジヤといひ、云い合せたようには、共産軍の蜂起が熾烈な態を見ると、ハノイが手付つていゝと見るべきであらう。北がアジュトダするなら、こつちも手を出したのが、こんどの米軍作戦だろう。

ESCRITORIO KOBAYASHI

営業案内

法律(民法・刑法・労働法)

シンジケート顧問弁護士

会計事務

デスバシアンテ

保健(生命保険・自動車保険・農業保険・その他)

外国人登録の種々

帰化手続・身分証明

所得税申告をお忘れなく

プヴァルガス街 一八九番地

主任 Dr. 石川雅宏

TEL 105

C.P. 130

180

だサヤあてを始めろかも知れない。兩國とも共産化してしまへば、ソ連も中共もおさまるだろうが、兩國とも王国だから、政情から発する国情の変化など興味は尚將來残るだろう。

○ インドシナが共産化し、朝鮮が赤化するのと同様で残るのは台湾と日本だけだ。ちよと心細いな。台湾はもともと支那大陸の一部だから、本国の中共にとけこんでも不思議ではないが、南鮮まで赤化する、朝鮮海峡をへだてて日本は赤い国と対峙することになり、やがて赤い国にならぬとも限らない。

日本は今、共産党を政党として公認しているのだから、いつの日か共産党が政権を握る時が来ないとも限らない。現に地方都市選では、共産党が自立して勝ちつつあるし、東京都の美濃部知事も共産、社会の後援知事だ。

○ 共産党というと吾々も毛嫌いしてゐるが、歴史の流れはどう変わるか判らぬし、人力だけでは、その流を変えることは出来ない。

アメリカが十数年サイゴンの味方をし、ハノイを叩きつぶさうとしたが、遂にどうにもならなかつたではないか。民主国として栄えるであろうが、いつか赤い波をかぶる日が来いと保証はできない。

○ ラオスの内戦は、やや見透しが明かす。が、前述のカンボジヤの方は、シアヌーク殿下をめぐつて、ソ連と中共は……

い、何故ならば、世界の地図を見ると、二、三十年この方赤色が増加し、桃色は次第に赤くなりつつある。米州に赤い国はなかったが、キューバを嚆矢として、一昨年チリが共産政権となり、ボリビアなどにもチンタが飛んでくるようだが、アルゼンチンもベロン派の抬頭で、いくらか桃色がかって来た。こうした世界的動きを見過ごすわけにもいくまい。

第二十二回バストスコルフ大会

これまで共産国が成立した国の歴史を見ると、ロシアといひ、支那といひ、共産党が成立する要素が醸成されて居たとい。てよい。キューバでも、ベトナムでも専制政治の圧迫をはねかえす運動であり、適地統治から逃避しようとする巻として、共産思想の印として用いられた。

一九七三年 三月十一日
成績表

ブラジルは平和な民主国であっても、やはり共産思想を持った分子が潜在し、策動している。が、何もブラジルが共産分子に乗ぜられるような素因はない筈だ。

第二十二回バストスコルフ大会

日本でも今、共産分子につけ入られるような、まずい政治をしていないが、自民政権が田中から福田に、中曾根から大平に、というようにな、タライ廻しのようなことをしていると、国民の倦怠を買い、社民、共産の楯玉にあがることにもなる。遠慮なく云えば、田中内閣は、すこき倦きられ、国民の支持率もうすいという。

第二十二回バストスコルフ大会

国民の支持を失うということが、わい、共産につけこまれないように、日本は緊張しなければならぬ、といったら、笑われるだろうか。

第二十二回バストスコルフ大会

御礼
金一封也
右は御子息様カサメント御披露宴にお手伝い致しました。厚く御礼申し上げます。

第二十二回バストスコルフ大会

今野林次郎様
バストス連合会教婦人会

第二十二回バストスコルフ大会

- 迷、ユーピン
- JOVEM TERUKO MATSUMOTO 752-7231
 - JO JOVEM PAULO NAKAYA 4922
 - SR. HIDEKI SATO (GLORIA 2) Banco 49
 - SR. YOSHINORI KINOSHITA (G. CRUZ 332)
 - SR. KIKUYUKI OGAWA
 - SR. INACIO KUABARA
 - SR. FUMIO MORITA (2) Banco

一九七三年 四月八日 第二日曜日
成績表

女子	AUTO	IN	TOTAL	HC	NETO	男子	AUTO	IN	TOTAL	HC	NETO
1 堂前アサ子	49	48	97	34	63	1 竹原 穂	45	42	87	24	63
2 谷口ツネ子	53	50	103	35	68	2 浅川 義範	42	40	82	18	64
3 東美代子	49	42	91	19	72	3 池田 俊夫	48	44	92	28	64
4 吉浦美代子	58	50	108	36	72	4 鶴 秀夫	64	50	96	30	66
5 水野誠子	51	50	101	29	72	5 森 正義	51	49	100	33	67
6 森下喜久子	59	50	109	36	73	6 東 幸誠	45	39	84	16	68
7 浅川春江	54	56	110	36	74	7 東 誠義	46	52	98	38	68
8 吉浦みさ江	59	51	110	35	75	8 本 義秀	48	59	107	38	69
9 吉浦多利子	49	52	101	25	76	9 吉 義一	49	48	97	27	70
10 池田貞子	51	52	103	26	77	10 大野 義一	51	50	101	30	71

グロス賞 浅川

園報社にあり

グロス賞 吉浦徹郎

昭子は考えていた手順通りに、明日から七日間の食生活の下ごしらえに動んでいた。湯気のためすっかり曇ってしまった。台所の硝子窓が叩かれる音に、硝子乾燥瓶の止まったのと同時に気がついた。

「はい、誰方？」
 大声で聞くと、それは隣家との庭門からで、「私ですよ。昭子さん、私ですよ。」
 最前門の所で別れた男の声であった。「敏、聞いてよ。」茂造が、最前と少しも変らない身なりで、にゆうと家の中に入ってきた。大鍋に盛り上げてある野菜の煮物を見ると、とろつとした眼になつて、「芋ですよ」と言った。
 「後でお届けしようと思つていなんですよ」と朗らかに言いきり、顔を上げた昭子は驚いてしまった。男がやじわに野菜煮を片手に掴んで、人參と小手をいどきに見まわつた。
 「あらまあお舅さん、よそいすよ。おなかですいてらっしやるのですか。珍らしいですね。」
 昭子が慌てて小鉢を手にとると、茂造は故の傍においてある空の中華丼を羨ましそうに眺めながら言った。
 「婆さんが起きてくれなれないもんだから、私は腹が空いてかなわんです。」
 「お姉さん、寝てらっしやるのですか。」
 「婆さんですか、そろなんですよ。いくつ言つても起きてくれません。」
 「どこかお悪いんですか。」
 「ええ、様子かね、どうしたのですかね。愛なのでですよ。」

昭子はすぐ舅がいま入つて来た戸口から、サンダルを爪がけて離れの方へ行つて見た。姑は舅と遠く病氣知らずの健康な女であつたが、もう七十歳はとうに過ぎているのだ。中風の発作でも起すようなことは十分に考えられた。

キキキキと耳の奥から騒ぐような不愉快な音をたてて、機械の先端は信利の奥歯を穿つていた。大きな口を開けたまま信利は幾度も齒科医の前で、けぞり、呻き、溜息をついた。よだれが絶えず、舌の下から湧き出るが、口の中突込んである別の機械が、それを問断なく吸い出してゐる。文胸が発達しすぎた公害の時代に入つてゐるのに、齒科医は学だけ戦前と少しも変らず、こんなことはかりしてゐるのかと、信利は腹立たしくなつてゐた。この三年間に幾度かの治療所に来ただらう。会社の中の同じ建

ガンブリナポスト

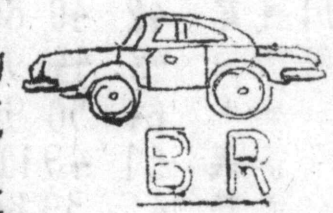
超 速 自 動 車 洗 滌

僅か三分間であなたの自動車がかピカピカ

トロツカオーレオ

エンジンラッシュマ

LAVAJATO
 SÉSCUICENTENÁRIO FONE 371
 PETOROBRA



短時間で洗滌
 給油、注油等
 一切の御用命
 に応じます。

ドッキモデカシマス街、演舞場の隣り

セキスセズデオ

電話 三七一

物の中にある診療所だから、時間のロスが最低限に押さえられているもの、しかし毎度来ては歯を一本一本削り、虫歯を除き、金を詰め、金を詰めても何年かすれば隙間からまた虫喰いが始まり、あの我慢のならない神経の綱目を走るような痛みが起きる。そんなこと繰り返しが、これからも何年続くというのであろうか。治療が終わったとき、信利は情けなそうに顔をしながら訊いた。
 「先生、歯というものは遺伝ですか。」
 「遺伝もありますが、どうしてですか。」
 「親爺が昔で舌割したのを思い出したんですよ。総入歯になつたのも早かつたようでした。」
 土曜日を平日だけの、信利が最後の患者だったため、齒科医は早く白衣を脱ぎたいらしく、びっしりと言った。

「総入歯は簡単ですよ。抜歯すればいいだけで、治療の必要はないですからね。私は総入歯にしたくないと思つたからこそ、手間はまかけてやっています。」
 総入歯にしたものは、すぐ後悔する。歯に虫喰いは出来ただけ殺さない方がい。神経を抜くと、歯はもろくなつて欠けやすく、虫喰いも早く進んで総入歯への道を特急で走ることになる。というものがこの齒科医の信条なのであつた。信利が痛みを耐えきれないから、いっそ抜



RAÇÃO Cargill

CRECE - AVES - RAÇÕES LTDA.

Rua Presidente Vargas 431

BASTOS

☆ ラッソン カルジウの

◇ 販売配給倉庫を設けました

◇ 養鶏家各位の御愛顧を御願ひ致します

⇒ 優秀品質のミーリョ種子の予約注文引受けます

□ 桑原 一山 内共 営 □

販売員参上の節は何とぞ宜しく御引見の程を御願ひします

No. 3

いて欲しいと懇願しても、彼は頑として聞き入れない。総入歯ほど不愉快なものはないと、信利の上司たち経験者も口を揃えて言うから、仕方なく歯科医の方針通りの治療は続けていけるもの、いつも診療所を出るとき信利は浮かぬ顔になつた。

「親爺も歯性が悪かつたから仕方がないですかね」
「いや、誰でも揃んでくる所なんですよ、歯というものは、そういうものですよ。歯科医は信利の愚痴を封じようとして、誰でも少し笑つた。それはまるで、誰でも信利の年齢になれればそうなるのだと宣言したようで、信利には気にいらなかつた。子供の頃から歯の痛みというものは、あまり知らずに過してきて、こんな歯医者の椅子にちよくちよく坐るようになったのは、ここ三、四年くらいいや、十年ぐらい前から始まつていただろうか。

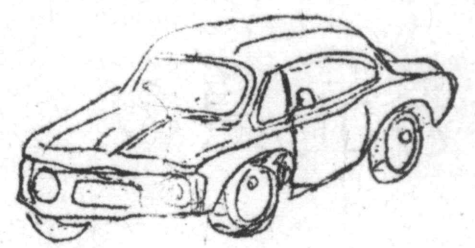
戦争中の無理な生活や、戦後拘留されたからの食生活の窮乏などが、今になつて歯に現われていふのだ、と信利は思つて歯としていた。それと、やはり遺伝はあろに遠くない。物心づいてから信利の知る限り彼の父親は、相手が妻であれ子であれ、胃腸の不調と歯の具合悪さを訴えなかつたことにはなかつた。

若い頃には、そういう親に反発を覚えるばかりで、母親も病弱の父親一人の面倒を見るのが精一杯だつたから、一人息子に生れた信利は、過保護になるところを免れ、体質的に母親に似たせいかわ丈夫一方で生きてきていた。戦争にも抑留生活にも、戦後の日本でも生き抜いてきたのは、第一に体力があつたからだといつていい。それが、ここへきて急に、歯が抜けさまに具合が悪くなつてきた。

俺も行末は親爺のようにならなかつた。利はその日の残業に片頬を抑えながら、時考えこんだ。茂造は気難かしくて、医者だけでも何軒変えたか分からぬ。その度びに喧嘩をし、総入歯を何度か作ら直し、それが具合が悪いとすぐまた医者を変え、場句の果ては遂に材料と道具類を買いこんで自分で入歯を作り出した。何度も何度も作らしてもらつて、いろうちに、やり方を覚えてしまつたのだらう。

「次長、歯が痛むんですか」
信利のデスクの前に一人の青年が立つていて、こう話しかけた。君な想像もつかないものなんだよ、頭痛や腹どきいからこの苦しみは分らんだらうが、いや、僕は子供の頃ひどい目にあつたから、それ以来ずっと食後は必ず歯

あなたのがクルマを
トロッカしませんか？



MARVEL-MARILIA VEICULOS LTDA
Chevrolet
すばらしいクルマ
と……
オパ ラ (高級車)
カミノネツテ (シボレ)
カミニオン (シボレ)
好条件で差げます故
御相談下さい
毎週木曜日に
パール柳浦にて
出陣員 瀬 尾 清
マルベルマリアベイネクス商会

「本当かね、それは手廻しのよいことだ」
高利は社歴三、四年になる若者の、輝きのように白い前歯を眩しく見上げた。
「君は煙草もやらないのかね」
「ああ、やりません」
「無駄なことはい切やうない合理主義か」
「どうもないんですよ、学生時代は吸

「お母さんがよほど」
「慣れ持て、俺のようになつたのかもしね」
「慣れ持て、俺のようになつたのかもしね」
「慣れ持て、俺のようになつたのかもしね」
「慣れ持て、俺のようになつたのかもしね」
「慣れ持て、俺のようになつたのかもしね」

「これはいいね」
信利は感嘆し、息子の故にもどういふ習慣があるかどうかと思ひながら、
「いや君、歯というものは君、若い頃は痛のようにはいかなんのだよ、頭痛や腹どきいからこの苦しみは分らんだらうが、いや、僕は子供の頃ひどい目にあつたから、それ以来ずっと食後は必ず歯

(有香佐和子著)

アルドフ・ヒトラー 『極秘文書』

二十世紀最大の悪魔 ヒトラーの虎
子、機甲師団の鋭い毒牙は、モスクワ攻
防戦で一敗地にまみれたが、なお全ヨ
ロッパを第三帝国の恐怖がじわじわと
押し包んでいた。ナチ終息の日はまだま
だだれの目にも予測されなかつた。米戦
略研究所は、ヒトラー研究に極秘で着手
したのである。

一九四三年のはじめ、戦争はどんな結
末に終わるかまだはつきりせず、早期に戦
争が終る見込みもきわめて薄い状態だつた。
米国はそのころ、ドイツ民族の「変身」を
あつげにとられて見ていた。
何血統にも亘つてヨーロッパ文藝に偉
大な貢献をしたとされたこの高貴に習熟した
民が、たかだか十年間に「アルドフ・ヒト
ラー」のかけ声のもと、かくも道義的規範の
こたへを、上野塗力人々の群と化してしま
つたのである。

現代に於ても、どうしてこんな変身が
可能なのか、それをやりとげたと思われ
るヒトラーとはどんな男なのか、こうし
た問題について、情報不足から、米国及
び各国にはささげられた見解がとびか
つてきた。

ヒトラーという男について、またその軸
核について、そして、彼とドイツ民族と
の不可思議な関係について、もつとは、
きりした理解が緊要だつた。
そのため、米戦略研究所(OSS)の
所長だつたドノバン將軍は、私に、ヒト
ラーについての心理学的分析をさせた。一
九四三年春のことだつた。調査報告は同
年十月に完成し、「極秘」資料として、米
政府首脳の間で回覧された。多くの学者
たちはこの研究を近代戦史の中でニュ
ーヨークなものだと考えた。残る戦争の期間
を通じて、敵がどんな行動に出るだらう
かを予言したにとどまらず、この研究は
、いわゆる心理学的歴史研究(サイコヒ
ストリー)の将来にひとつの模範をつく
らしたといえるからである。「ヒトラーの心」
C・ランガ博士「ヒトラーの心」

以上のようないきさつをつくられた極
秘報告が、二十九年ぶりに解禁された日
の目を見ることになつた。救世主コンプ
レックス、死への恐怖感、セックス観
念、ヒトラーの肉面に光りを当て、ひ
どりの個性の心理学的理解とともに歴史
の理解へ迫ろうとする試みである。

RELOJOARIA TAKATA

入学、進学、卒業、就職等のお祝い
記念の贈物として、シチズン、セイ
コー、テクノス等高級腕時計が最も
喜ばれます。

めがねの調度は当店で御相談



婚約中びわ・結婚中びわ
めがね・日本みやげに宝石
装身具のアクセサリー
黄金屋類・万年筆等一切

卓上・室内装飾品の新型いろ
いろ

ロードビアリオ前

高田時計店

電話九十三番

アルドフ・ヒトラーは、世上、もつとも
人柄として歴史に残るであろう。

多くの人々の首をかきつけさせ、迷わせ
ている問題は、はたしてヒトラーという
男は、誠心誠意、自由信じてあれだけの
ことをやつてのけたのか、それとも、本
当はいかさま師だつたのか、という点で
ある。ひとり人間が、試案であると同
時に、ヒトラーのおかしたような所業も
なし得る、ということ、不可能のよう
に見える。だが、われわれが接触した、
かつそのヒトラーの仲間たちは、一様に
われわれの多くの諜報員たちと同じよう
に、ヒトラーは心の底から自らの偉大さ
を信じこんでいた、と確信している。
フックスの報告によれば、ベルビスガ
ーデンでのインタビューでヒトラーはシ
ュニユニツクにこう云っている。
「きみはいま、史上もつとも偉大なるド
イツ人と相対していることがわかつてい
るのかね」

また、たとえば、ラウシュニクに向
つてこういふこともある。
「私の歴史的地位について、何も
のお墨付きをもらわなければ納得できな
いなどということはない」また「私のな
すことが歴史である」と。

好漢重道君斃る

○去る四月十日、重道永栄氏は路上にて突然病魔の発作を起し、將に倒れようとした時、通りがかりの婦知人に支えられ、その場の急は免かれたが、腦溢血のため半身随となり、イビランが病院に入院、加療中であるが、病勢重く、医師の表情も暗いようである。

(西川誠一氏報)

○恰ど私の出聖中(PLS教団の花火見物後)、重道さんの訃を知り、四月二十三日の葬儀に参列した。墓地は、タボンデセーラのバートツ墓地であった。何方突然のことと驚いたわけである。

(京野万次郎氏)

○三月中旬出聖のとき、シヨアキン街に於たり重道さんに出会った。重道さん色もわるかった。こんなどの訃報で、その頃から、胆臓がわるかったのではないかと思ふしがあった。パウリス夕印刷会社につとめていたような話だったが、まだ若いのにおしいことだった。

(山中三郎氏)

重道氏の住所は左記です

TIYOKO SHGUEMITI
01005
Rua. Duvidor Peleja 354
Vila Mariana
Fone, 275/1414
SAO PAULO

FABRICA de GRANITO

Av. Rio Branco % C. Postal: Phone; 515
ADAMANTINA, S. P.

大西石碑工場

日本式及ブラジル式
墓 碑 記念 碑
胸 像 石 燈 籠
石 白 灰 白
石材美術彫刻類一切製作
古い墓石の修理も致します
アダマンチーナ市リオブランコ大通り

大西文吉 郭函二一三番
電話五一五番

私のなすことが歴史である、シチュートラッパはヒトラに對して「あなたはいま、まじがでうしやるの、ないでしようか」と、直言した人物。ヒトラは、その時言下に、「私がまじがでうことはあり得ない、私に、答えていろ。」ヒトラは、自らを法律的な問題におけるきりめてすぐれた裁判官であると信じこみ、またドイツで一番の立派な建築家であると思ひこんで、おそろしく長い脚間を付けて頼りしいビルのスケッチをしたり、全市の敷地計画を練ったりした。美術学校の入学試験に失敗したにもかかわらず、ぞうい、た、自分第一だというのが彼の考えだった。つづく

州議員 京野 四郎

バストスの柑橘類の将来について
今年七月は、バストス入植四十五周年を迎えるが、願わば一九二六年の入植当時から今日迄、植民地としても色々の経路を辿つて来た。第一期のオロコ、ブラソコ時代、二十八年から四十年迄で、ブラシルーの崩壊土地と云われた砂地で、一時は一アア、当り五百アロバの収穫を記録した。が、善い換るばかりの農法では毎年地力が衰え、最後には果以外に作物は何も期待出来ない状態に達してしまつた。第二期の養蚕時代は、四十年から四十五年迄で、一時は養蚕王国を誇つたバストスも、第二次大戦の終了と共に最高kg六十五kgを記録したのが、今年二十三針に暴落、続いて起つた同僚間の心の乱れから、五年に亘る空白時代之余儀なくさせられた。この時期には、アルケトルの口ツチを家付き三コソト前後の値段で手離し、それをムダンサ積として、サンパウロ市、或は北パラナへと移って行く人が多かつた。全盛時代には一千三百家を擁した大植民地も、その半数に満たない五百家族が居残、たに過ぎない。第三期の養鶏時代は、四十九年から現在まで、五年の卵産量をバストスは、卵玉の数を恣いままにして来た。屠殺場もコチア産粗糸と信太の二大屠殺場の出現を見、一方ブラ拓養蚕、製糸も雪達磨の如くふくれ上つて来た。この頃の安定状態が続くかに見えたバストスの養鶏業、飼料の騰貴に反比例して卵の値段に上り、漸く養鶏界に赤信号が開始された。この状態が抜けば、バストスの養鶏家は総崩れ、今や全面的な養鶏期に見舞われてゐる。聖市近郊の養鶏家は、グラ

